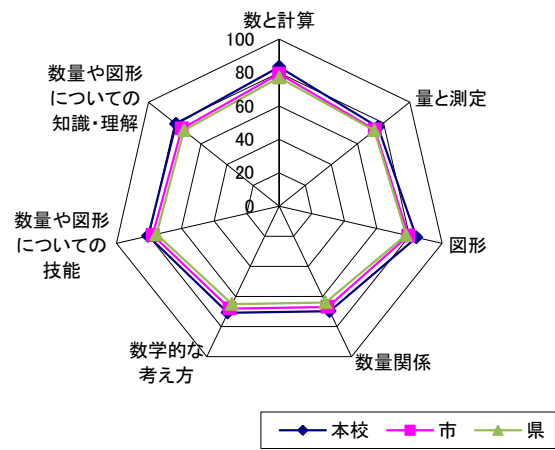


宇都宮市立石井小学校第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	83.4	79.3	77.1
	量と測定	75.8	73.4	72.9
	図形	84.3	79.4	78.0
	数量関係	69.8	67.0	64.0
観点	数学的な考え方	70.9	68.2	65.1
	数量や図形についての技能	80.5	77.7	75.4
	数量や図形についての知識・理解	79.0	74.5	72.8



★指導の工夫と改善, ○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○同じ分母の帯分数同士のたし算がよくできている。 ○図を使って、倍とわり算の文章題に合った式を選ぶこと等がよくできている。 ●位取り記数法を理解し、1兆と1億の個数をもとにその数を正しく数字で書くことがまだ十分ではない。	・漢字で書かれた大きな数を数字で書く際、位を抜かさず記入できるよう、あらかじめ桁の区切りに線を入れるなどしてから数字を書き入れるようにする。支援の必要な児童には教師が12桁や16桁の位の枠が印刷されたプリントを与え記入させるなど個に応じた手立てを行う。
量と測定	○分度器で測る前に、角の大きさの見当をつけること等がよくできている。 ●身近にあるものの面積の大きさを適切に推察することなどの理解がまだ不十分である。 ●面積の単位の関係がまだ十分に身についていない。	・身の回りにある物のおよその面積については、三択クイズのようにして、(例えば、下敷きの面積は、40cm ² ・400cm ² ・4000cm ² のうちどれかを選ばせるような)練習をするなどして、数の感覚を身に着けさせるようにする。 ・1m ² が10000cm ² であることを実際の大きさの紙を使って再確認するようにする。
図形	○長方形において、垂直な関係にある辺を正しく理解している。 ○直方体の見取り図から平行な面を見つけること等がよくできている。 ●コンパスを使って、指定されたひし形を正しく作図することがまだ十分ではない。	・四角形等の作図については、コンパスや分度器の使い方にまだ十分に慣れていない児童もいるので、朝の学習等の時間や宿題などで繰り返し作図の練習をするようにする。
数量関係	○文章問題を解くために、四則混合の式を正しく立てることができている。 ○二次元の表の意味を正しく理解し、表の中のそれぞれの欄に書かれた数字の意味を説明すること等がよくできている。 ●棒グラフと折れ線グラフの表している数値の意味を正しく読み取ることに課題がある。	・増加量のみを表したような棒グラフの数値を折れ線グラフに表す際、元の量に増加分を加えて表すことが必要であることを確認して練習問題を解くようにするとともに、日常の中で扱われているグラフを意図的に紹介し、活用する力を高める。